

令和6年度 江戸川区立瑞江第三中学校 学校関係者評価報告書（学校経営計画・学校関係者評価シート）

学校教育目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>自ら学んで、自己を高める生徒【知性】（知）</li> <li>人を大切にして、共に生きる生徒【敬愛】（徳）</li> <li>心身が健やかで、活力のある生徒【健康】（体）</li> </ul>	目指す学校像 目指す生徒像 目指す教師像	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の「多様性」と「一体感」を大切にすることで、すべての生徒が自分らしく育つことができる学校</li> <li>実践力のある生徒（学び、自立、自主性、リーダーシップ、自ら行動に移す力、課題対応能力）</li> <li>教育の専門職（プロフェッション）として「自ら学び続ける教職員」となる。</li> </ul>
前年度までの本校の現状	成果 <ul style="list-style-type: none"> <li>学び合いや一人1台端末を活用した授業の実践。</li> </ul>	課題 <ul style="list-style-type: none"> <li>探究的な学習活動の実施。</li> </ul>	

重点	取組項目	具体的な取組内容	数値目標	達成度		「中間」自己（学校）評価（A～D）		「中間」学校関係者評価（A～D）		「年度末」自己（学校）評価（A～D）		「年度末」学校関係者評価（A～D）		次年度に向けた改善案
				9月	2月	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	
学力の向上	○授業改善による学力向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>『瑞三学びプロジェクト』の実施</li> <li>協同的な学び（学び合い）の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学力調査において区平均値に到達</li> </ul>	C	B	C	区平均には届いていない。瑞三学びプロジェクトは継続中。	C	学び合いを大切にしてほしい	B	学び合い授業が促進されている。	B	継続してほしい	瑞三学びプロジェクトを継続し、学力向上に努める
	○探究的な学習活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>ESDカレンダー（単元配列表）の活用</li> <li>SDGsを活かした学習・活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合的な学習の時間における探究的な学習活動の取組90%</li> </ul>	B	B	B	各学年で探究的な活動を実施している。ESDカレンダーの活用が課題	B	SDGsを活かした活動に積極的に取り組んでほしい	A	各学年の探究的な学習および発表ができた。	A	広い視野で深く学ぶことができるようになってほしい	今年度の取組を基本としながらより深い学びを目指す
	○読書科の更なる充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>探究的な事後学習の開発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>読書科における探究的な学習活動の取組90%</li> </ul>	B	B	B	各学年で取り組み中	B	読書をたくさんしてほしい。	B	蔵書は充実しているもののまだ図書室利用が活性化されていないことが課題	B	読書の大切さをしてほしい	読書の時間、本の選び方を工夫する
体力の向上	○健康的で活力ある生活習慣づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活改善週間の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>積極的に取り組んだ生徒80%</li> </ul>	A	A	A	全生徒が積極的に取り組んでいる。	A	取組を継続してほしい	A	取組が定着している	A	生活改善が子どもの健全育成には欠かせない	継続して実施
		<ul style="list-style-type: none"> <li>眠育、食育授業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実生活に生かすことができる生徒80%</li> </ul>	B	B	B	実生活で役に立っているというエビデンスはまだ出ていない。	B	普段知ることができないことを教えてもらえるのはとても良い。	B	生徒アンケートでは役に立っていると考えられる生徒が多かった。	A	学校で眠育や食育をすることで家庭にも繋がる良い取組である。	実生活に活かせる学びを提供する
		<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツクラブとの連携授業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動、スポーツが好きな生徒90%</li> </ul>	B	B	B	スポーツに親しむことはできている。	B	難しい部分もあると思うが、日常的に運動ができるようになるとうい	B	スポーツに親しむことはできた。日常に活かすことが課題	A	地域の施設や企業を積極的に活用しているところが良い	家でもできるエクササイズなどを提供する
共生社会の実現に向けた教育の推進	○差別や偏見のない環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>人権課題の学習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分も相手も大切にしている生徒90%以上</li> </ul>	A	A	A	人権意識は非常に高い	A	自分も他の人も大切にすることを育ててほしい	A	人権作文で表彰される生徒も多くなった。	A	人権意識が高い子どもが社会を形成していく人材になってくれることを期待している。	継続して実施
		<ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援教育の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>週1回の特別支援委員会の開催</li> <li>週1回SC,SSWとの連携</li> </ul>	A	A	A	SC・SSWとの連携は密に行っている。	A	地域も連携しながら、支援していきたい。	A	SC・SSW・児相等第三者機関との連携を密に生徒のより良い成長に寄与できた。	A	子供の良さを理解し、力を発揮できるように支援してほしい	個人への支援を充実させる
不登校・いじめ対応の充実	○支える生活指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>学級経営の充実</li> <li>ルールとリレーション（安心して生活できる場の実現）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>QU結果の全国平均値到達</li> </ul>	C	B	C	1回目が終了したばかりであるため、比較対象がまだない。	C	子ども達の心地よい居場所づくりをしてほしい	C	学級の居心地は学年が上がるごとに良くなってきているが、まだ不十分な環境	C	学校やクラスで安心して生活できることが何より大切なことである。	心プロジェクトによる学級経営の充実を図る
		<ul style="list-style-type: none"> <li>いじめ防止授業の開発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いじめ認知件数、昨年比50%減</li> </ul>	D	D	D	未然防止に努めることが急務	D	いじめは絶対に良くないということをきちんと教えてほしい	D	いじめ重大事態が起こってしまった。	C	いじめに対する授業を継続的にを行い、意識を高めてほしい。	いじめの未然防止、初期対応等、教員全員で理解し対応していく
		<ul style="list-style-type: none"> <li>別室登校への支援体制づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>不登校数、昨年比50%減</li> </ul>	D	B	D	不登校から別室登校へ移行する生徒が増加傾向である。	D	不登校が増加していることは大きな課題である。	B	校内別室支援員の協力により、長期欠席だった生徒が複数登校できるようになった	C	不登校の生徒が登校できるようになったことは素晴らしいが一方で増えていることは課題	継続するとともに個別最適な学習を提供する

学校(園)の 開かれた 地域社会に の実現	○学校公開の実施	・各種行事、道徳授業公開、学校公開の実施	・年3回の学校公開の実施 ・年1回の道徳授業公開	A	A	A	実施できている。	A	公開することで生徒の活動が見られてよい。	A	実施できた	A	学校の様子を見ることができる機会が多くなり安心している	継続しておこなっていく
	OPTAと生徒会共同ボランティア	・「瑞三から世界へ～17の笑顔」プロジェクトの実施	・スナノミに苦しむ国や地域に靴を送る。(年1回)	A	A	A	実施することができ、無事にミランダナオ島の孤児院に送ることができた。	A	生徒が直接、地域と関わって広報活動をしている姿が良い	A	実施し、オンラインによる交流をすることができた。	A	生徒が世界に興味を持ち、世界のために役立とうとしていることを地域も応援したい	継続しさらに発展させていきたい
	○地域ボランティアへの参加	・地域行事への積極的な参加	・年3回以上	A	A	A	ボランティアには積極的に参加している。	A	今年初めての開催だったイベントにも積極的に参加してくれた。	A	積極的に参加することができた	A	たくさんの協力を感謝している	継続していく
教育の 特色ある 展開	○東京都体育健康教育推進校(2年目)としての取組	・生活改善週間および生活改善カードの作成	・各学期2週間の実施	A	A	A	生活改善週間実施中である。	A	生活改善が不登校や心の健康につながると思う。	A	年3回実施することができた。	A	継続してほしい	継続していく
		・外部講師による「健康・生涯スポーツ」指導	・年間5回のGT授業	A	A	A	GTによる授業実施中である。	A	外部の講師が来てくれることは子ども達にとって刺激になる。	A	GTによる授業の充実を図ることができた。	A	外部の方から学ぶことは新鮮で大切なことである	外部講師の選定が課題
		・「校歌でダンス」の実施	・全校生徒が2月までに取り組む。	未	A	未	作成終了したので、今後生徒に指導していく。	未	今後楽しみにしている。	A	全学年で取り組むことができた。	A	とても興味深い取り組みだった	毎年取り組んでいきたい